



懸け橋

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第9号
平成28年1月19日
校長 松丸 晴美

「スポーツは明日への希望」

明けましておめでとうございます。今年の干支である「丙申」には、果実が熟し固まるという意味があるそうです。生徒達のこれまでの頑張りが形となって表れる年になることを願います。今年も本校の教育活動に対する変わらぬご理解・ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、年末にはようやく新国立競技場のデザインが決まりましたが、華やかで関心や注目度も高いオリンピックに比較し、パラリンピックの認知度はやや低いと言わざるを得ません。教育目標に「人との共生を図る生徒」を掲げ、オリンピック・パラリンピック学習を通して、社会に貢献しようとする意欲や態度を醸成することを目指している本校では、1月15日に、パラリンピック種目のひとつであるブラインドサッカーの日本代表選手を招いて、公開授業を行いました。

体育理論の授業の中でブラインドサッカーについて知り、体験することを通して、障がい者とスポーツのかかわりについて理解を深めたり、自身に関わる可能性などを考える機会とすることをねらいとしました。

都立八王子盲学校社会科教員であり、ブラインドサッカー日本代表選手でもある黒田智成先生の自己紹介と実演から授業は始まりました。

いよいよ生徒達の番です。始めはアイマスクをしてボールを持ち、声のする方に向かって歩く体験から始め、徐々にパスやドリブル、シュートの体験に進んでいきます。鈴の入ったボールを使用するブラインドサッカーが、通常のサッカーともうひとつ大きく異なるのは、ボールの位置やゴールの位置を知らせるガイド（またはコーラー）という役割を担う人がいることです。生徒は交代で選手とガ

イドの役を体験していました。最初は「こっちこっち」や「ここだよ」といった掛け声でしたが徐々に「右にシュート」「あっ、そこ気を付けて」など具体的な言葉、相手を思いやる言葉に変化していきます。

体験後には「目が見えないのでやりづらかったがすごく楽しかった。」という感想や「サッカーは大きな声で応援するけれど、ボールの音やガイドの声は聞こえにくくないですか？」といった素晴らしい質問もできました。グランドサッカーではプレー中は声や鳴り物での応援は禁止されているのです。

授業が終わると大勢の生徒が黒田先生を囲み、質問攻めにしていました。

黒田先生は「難しいことでもやり続けると一つできるようになる。一つできるともっとできるようになる可能性がある。目が見える人と見えない人が同じ仲間として同じ目標をもってともに戦うことができる。それがブラインドサッカーの魅力。2020年に向けて色々な障がい者スポーツに関心をもち、様々な形で関わってくれたらうれしい。」と授業の締めくくりに話されました。

「今度試合を見に行きたい」と言っていた生徒の中から、未来のブラインドサッカーゴールキーパーやガイド、運営やボランティアに関わる生徒が現れる可能性を体感させてくれた授業でした。スポーツで未来への希望を垣間見た一日でした。



新春 伝統文化 「百人一首大会」を楽しみました。

平成28年1月9日(土)、百人一首大会が、1年生は、3, 4校時、2年生は1, 2校時に本校体育館で行われました。

1年 国語科 教諭 金子 敬

睦月九日(土)、体育館で百人一首大会が行われました。古典に苦手意識を持つ生徒もいる中で、百人一首大会は楽しみながら勉強する良い機会となりました。

小学生時代は「ぼうずめくり」はやったことがあっても、カルタのように札を取り合うことは初めてだという生徒がほとんどでした。一回目の授業で百人一首の話をした時の生徒の反応はまちまちで、やる気に満ちあふれている生徒もいれば、面倒くさそうに見える生徒もいました。しかし、いざ始めると熱狂的になる生徒が多く見受けられ、静かにするよう指導されることもしばしば。

回数を重ねるごとに決まり字や、気に入った歌を頑張っ覚えてくる生徒が現れました。盛り上がりすぎて歌が聞こえないこともありましたが、次の歌が始まったら静かにするなど、マナーも身につけてきました。

百人一首大会当日。沢山札を取れて嬉しそうな人もいれば、相手の強さに呆然とする人、何度も同時に札を取るほどの互角な戦いに真剣な人と、生徒の様々な表情・戦いを見ることができました。教員陣の個性ある歌詠みも楽しんでいたようですが、どの生徒も適度な緊張感を持って真剣に歌を聞いて札を取る姿は、見ている側をも楽しい気持ちにさせてくれました。



2年 国語科 主任教諭 渡 雅代

今年の百人一首大会は、昨年度とは違ったルールで80枚の2回戦を行いました。表彰状は、2回戦のクラス総取得枚数を参加人数で割った、1人あたりの平均枚数の多い順で上位の2クラスのほか、個人も総取得枚数の多い順から7位までに7位までに与えられることになっていました。ご覧になった保護者の皆様は、子どもたちの上達ぶりにきっと目を見張られたことでしょう。一年次からの学習の継続の賜物と思います。お手つきの数も減り、自分の得意札には瞬時に反応するなど、冷たい空気の中に熱いそれぞれの気持ちを感じられた2時間でした。クラスは、E組の完全優勝でしたが、二位はC組が0.5枚差でD組に競り勝ちました。また、個人戦では、83枚で鈴木涼太君(C)が圧勝しましたが、七位までに優勝クラスの人が5人も入っていたので、納得しました。二位、田中さん(E)76枚、三位、長谷川さん(E)、長澤君(E)71枚、五位、金田さん(E)69枚、六位、66枚鈴木さん(B)、七位、65枚薄井さん(A)、加藤さん(E)でした。講評の中で、宮内貞先生から、「食わず嫌いはやめましょう」との呼びかけがありました。苦手でも取り組みの工夫によって道が開けるとい、お話でした。皆さんの力は無限大です。これからもいろいろなことに挑戦していきましょう。寒い中を、多くの保護者の方にご観覧と応援をいただき、ありがとうございました。

平成27年度 練馬区中学校生徒作品展

平成28年1月9日(土)～13日(水)、練馬区美術館で行われた「練馬区中学校生徒作品展」に出展した生徒をご紹介します。

【美術】〈第3学年〉

「パソコンによる透視図デザイン」12名

3A 渡邊琴帆、3B 蛭名祐一、3B 藤井智亮、3B 本多優、3B 稲葉静
3B 黒須稔、3C 高橋里奈、3D 稲田望、3D 大西はる花、3D 小松花
3E 草間健吾、3E 元野寧音

「砂絵による模写」6名

3A 井口恵吾、3A 松田さくら、3B 蛭名祐一、3C 藤原純菜、3E 松岡樹
3E 村田椿咲

〈第2学年〉

「木彫時計」23名

2A 金子雄星、2A 細川優斗、2A 神足らん、2A 坂田優花、
2A 武田夏帆 2B 新井彩夏、2B 大久保志帆、2B 小野澤音々、
2B 加藤あい、2C 江川明良、2C 塩澤泰河、2D 坂爪啓哉、2D 古田悠
2D 横手梨里菜、2D 若佐日和、2D 渡邊七海、2E 坂田拓海、
2E 西垣亮、2E 皆川大彦、2E 川北薫、2E 長谷川理実、2F 新妻杏奈、
2F 松島里紗

「漢字のイメージデザイン」6名

2A 武田夏帆、2B 竹田覇亜人、2B 小野澤音々、
2B 加藤あい、2C 大倉弓佳、2D 横手梨里菜

〈第1学年〉

「手のデッサン」6名

1B 嵐柴佑美、1C 元野志音、1C 小野寺すばる、
1C 細谷菊理、1E 阿部理咲子 1E 山村彩乃

【技術】

〈第2学年〉

「テーブルタップ」19名

2A 石川 大遊 2A 田崎 駿 2A 横山 和輝 2A 松井 美優
2B 伊藤 幸寛 2B 山田 大貴 2B 川瀬 綾香 2C 大倉 弓佳
2D 大塚 雄斗 2D 佐藤 天音 2D 原田 汐音 2E 糸井 康久
2E 皆川 大彦 2F 愛甲 竜也 2F 岡部 大樹 2F 田中 颯
2F 吉成 慧亮 2F 高崎 里帆 2F 松崎 凜々子

【家庭】

<3学年>

「動物クッション」18名

3A 杵淵 翔 岡 海和 松田さくら 3B 奈良 禄太郎 辻 祥世
3C 風間 皓平 阿部 友子 3D 旗 大輝 松田 有弘 茂木 美滯
3E 草間 健吾 金子 芙実香 後藤 萌 嶋田 美穂 仲矢 真菜 宮原 さくら
3F 熊木 夏奈穂 奈須 朱音



< 2 学年 >

「カーゴパンツ」 12名

2A 金田 怜 福田 咲恋 2B 竹田 覇亜人 濱 彩夏 三好 亜実
2C 塩澤 泰河 福島 悠太 大倉 弓佳 2D 坂爪 啓哉 西野 智大
2E 市丸 千裕 2F 田中 颯



< 1 学年 >

「ペットボトルホルダー」 30名

1A 神谷 孔士朗 鈴木 東民 市川 茉由 保科 百花 谷貝 陽和
1B 工藤 達成 小石澤 蓮 嵐柴 佑美 市川 京菜 伊東 あさぎ
1C 金田 正太郎 藤木 裕斗 小野寺 すばる 川野 帆乃佳 高澤 日向花
1D 杵淵 樹 毛利 太一 木山 緋菜 中川 結衣 水垣 結衣
1E 渡部 拓馬 大野 真理 小川 莉央 森岡 春華 山村 彩乃
1F 鍛冶 慶共 石田 菜々花 佐藤 あゆむ 藤原 麻帆 矢田 歩

「地域人材活用コーディネーター」をご推薦下さい！

来年度より、練馬区「地域人材活用事業」として、地域の方々のご支援をいただき、授業の補助や補充教室など、学習支援員などとして、学校をサポートしていただこうと考えております。現在も、週二回「ステップアップ教室」を放課後に行っており、学校評議員の方から紹介された学習支援員の方が、補習活動をお手伝いしています。来年度も、続けていきますので、基礎的な数学の補習活動をお手伝いして下さる方がおりましたらご紹介ください。

このように、学校で必要としている人材を地域から見つけていただき学校へ紹介して下さる「地域人材活用コーディネーター」を探しています。ご推薦できる方などいらっしゃいましたら、ご紹介ください。

※ 練馬区の地域人材活用事業の概要を下に載せておきます。

(仮称) 練馬区 地域人材活用事業の概要

本事業は、教員が児童・生徒と向き合う時間を確保するとともに、学校が多様な教育活動を実施するために、学校・家庭・地域の協働体制を構築し、専門性や経験を持つ地域の多様な人材に「教育活動推進員」や「学習支援員」として参加してもらいながら、地域社会と学校との連携協力を強化することを目的としている。

平成28年度は実施初年度として30校(園)を推進校(園)として指定、段階的に推進校を増やすものとし、平成30年度には区立幼稚園、小・中学校全校で展開する。

開校70周年行事に向けてのご協力をお願いいたします。

本校は、平成29年度に開校70周年を迎えます。来年度は準備の年と考えております。地域の方や学校にゆかりのある方とともに、開校70周年を迎えたいと思います。ご協力をお願いいたします。

【問い合わせ先】

練馬区立石神井西中学校 副校長 中嶋雅彦 電話 03-3920-1034